

この資料は、BAT 英国本社が2026年2月12日（現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約したもので、資料の内容および解釈については英語が優先されます。また、日本の法規制などの観点から一部、削除、改変または追記している部分があります。英語版は[こちら](#)をご参照ください。

プレスリリース 2026 年 2 月 12 日

British American Tobacco p.l.c.

2025 年 12 月 31 日 期末暫定決算報告書



業績改善を受けて 2026 年の業績予想達成への自信が増す

概要

- BAT グループのスモークレス製品の利用者数は 470 万人増加して 3,410 万人
- グループ全体の売上高に占めるスモークレス製品の割合は 2024 年度比で 0.7 ポイント上昇して 18.2%
- 為替によるマイナス影響を反映して売上高は 1.0%減少、同一為替レートベースでは、米国事業の燃焼式たばこ VELO Plus の貢献および AME（米国を除く南北アメリカおよび欧州）地域のマルチカテゴリーの成長持続が APMEA（アジア太平洋・中東・アフリカ）地域の低迷により部分的に相殺された結果、2.1%増加
- 新カテゴリー製品の売上高成長率は下半期に 2 桁台に加速し、通年の成長率は 7.0%²
- 「質の高い成長」を重視する方針が効果を発揮し、新カテゴリー製品の寄与²は 77.1%増加して 4 億 4,200 万ポンド
- 米国と AME 地域に牽引されて燃焼式たばこ製品の売上高と寄与度^{2, 3}が改善
- 公表ベースの営業利益は、カナダでの訴訟に関連した和解引当金を主に反映して 265%増加（公表ベースの営業利益率は 28.4 ポイント上昇して 39.0%）
- 調整後営業利益^{1, 2, 3}は 2.3%増加、調整後営業利益率^{1, 2, 3}は 44%（2024 年度比横ばい）
- 公表ベースの希薄化 1 株当たり利益（EPS）は 157%増加して 349.1 ペンス、調整後希薄化 1 株当たり EPS^{1, 2, 3}は 3.4%増加
- 中期的な成長アルゴリズムを持続的に達成できると確信、2026 年の業績は目標レンジの下限付近になる見込み
- 継続的に高水準のキャッシュ・ジェネレーションが貢献して、2026 年末までにレバレッジ³は 2.0~2.5 倍以内へと低下する見込み
- 1 株当たり配当は 245.04 ペンス、増配率は 2.0%、さらに 2026 年には 13 億ポンドの自社株購入を計画

タデウ・マロツコ最高経営責任者のコメント

「2025 年を通じて成長が加速し、通期の業績が予想レンジの上限に近い水準となったことを大変嬉しく思います。これにより、2026 年以降、中期的な成長アルゴリズムを持続的に達成することができるとの確信が一段と強まりました。

コマーシャルプランの実践強化を受けた燃焼式たばこ製品の持続的な伸長が主な起因となり、米国事業が力強い成長を遂げています。VELO Plus は、売上高が 3 桁台の増加を記録するなど、目覚ましい業績を上げており、VELO は数量ベース、金額ベース共に業界 2 位のシェアを獲得し、投入後 1 年以内でプラスの収益性を達成しています。ベープ製品では違法な製品の蔓延による影響が続いていますが、このところ、Vuse の業績が改善していることは喜ばしい限りです。今後、連邦および州政府による規制が強化されるにつれて、Vuse はその恩恵を享受することになると考えられます。

AME 地域ではマルチカテゴリー・ポートフォリオが引き続き高い業績を達成していますが、APMEA 地域では、バングラデシュとオーストラリアで財政政策および規制面でマイナスの影響が見られました。

新カテゴリー製品の売上高成長率が加速しており、すべての地域における VELO の力強い成長に牽引されて下半期に 2 桁台に回復しています。引き続き当社は、最も収益性の高い市場への投資を通じた新カテゴリー製品の成長加速を重視していきます。

研究開発能力の強化により、3 種類の革新的なプレミアム製品、すなわち「Vuse Ultra」、「glo Hilo」、「Velo Shift」を投入しており、いずれも好調な初期実績を示しています。2026 年には、他の市場にも的を絞った形で展開していく計画です。こうした成長の勢い、

さらに燃烧式たばこ製品の底堅い業績や一層の生産性向上策に支えられ、3～5%の売上高成長率²、4～6%の調整後営業利益成長率^{1, 2}、5～8%の調整後希薄化 EPS 成長率^{1, 2, 3}という成長アルゴリズムを継続的に達成できると確信しており、事業変革への継続的な投資を反映して、2026 年の業績はこのレンジの下限近辺になると予想しています。

高水準のキャッシュフローにより財務上の柔軟性が向上しており、2026 年末までにレバレッジは目標の 2.0～2.5 倍以内に低下する見込みです。

高水準のキャッシュリターン、増配、2026 年の 13 億ポンドの自社株購入計画を含む継続的な自社株購入を通じて、持続可能な株主価値の創出に注力していく所存です」

1. 調整項目は、当グループが規模、性質、あるいは発生状況から判断して特異的と判断する特定の項目を指す。詳細については英語版決算報告書の 23～30 頁を参照。

2. 同一為替レートベース。

3. カナダ事業調整後の業績指標は、新カテゴリー製品以外のカナダ事業の業績を除外している。

業績概要

決算のハイライト	公表値		調整後 ³		カナダ事業 ⁴ 調整後 ³	
2025 年 12 月 31 日期末決算	実勢 為替レート	前年比 (実勢)	実勢 為替レート (同一為替レート)	前年比	実勢 為替レート (同一為替レート)	前年比
紙巻たばこおよび加熱式たばこの数量ベースのシェア ¹		-0.4 ポイント				
紙巻たばこおよび加熱式たばこの金額ベースのシェア ¹		-0.1 ポイント				
スモークレス製品の利用者 ²	3,410 万人	+470 万人				
売上高	256.1 億ポンド	-1.0%	256.1 億ポンド	+2.1%	256.1 億ポンド	+2.1%
新カテゴリー製品の売上高	36.21 億ポンド	+5.5%	36.21 億ポンド	+7.0%	36.21 億ポンド	+7.0%
スモークレス製品が売上高に占める割合	18.2%	+0.7 ポイント				
営業利益	99.97 億ポンド	+265%	115.72 億ポンド	+0.4%	112.79 億ポンド	+2.3%
調整後粗利益成長率				+2.1%		+3.4%
新カテゴリー製品の売上高貢献度			4.27 億ポンド	+77.1%	4.27 億ポンド	+77.1%
新カテゴリー製品の利益率貢献度			11.8%	4.7 ポイント	11.8%	4.7 ポイント
営業利益率	39.0%	+28.4 ポイント	45.2%	-0.8 ポイント	44.0%	横ばい
希薄化 1 株当たり利益 (EPS)	349.1 ペンス	+157%	352.1 ペンス	+0.7%	340.5 ペンス	+3.4%
営業活動によるキャッシュフロー	63.42 億ポンド	-37.4%				
配当支払前フリー・キャッシュフロー			40.48 億ポンド	-48.8%		
営業活動による調整後キャッシュフロー ⁵			68.82 億ポンド	-5.5%		
キャッシュ・コンバージョン	+63%	-307 ポイント	+100%	-0.5 ポイント		
リース債務を含む借入金	350.7 億ポンド	-5.1%				
調整後純負債/調整後 EBITDA 倍率			2.48 倍	+0.05 倍	2.55 倍	-0.20 倍
1 株当たり配当金	245.04 ペンス	+2.0%				

調整項目および同一為替レート等の非 GAAP ベースは、英語版決算報告書の 46 頁に比較可能な IFRS (国際会計基準) の定義を提示してありますのでご参照ください。

注釈：

1. 各カテゴリーの業績の進展をより的確に反映するために、2026 年 1 月からは金額ベースおよび数量ベースのシェアを紙巻きたばこ加熱式製品の総計ではなく、それぞれ別々に集計する。
2. 社内推定値。詳細については英語版決算報告書の 40 頁を参照。
3. 調整項目の詳細については英語版決算報告書の 23 頁を参照
4. カナダ事業調整後の業績指標は、新カテゴリー製品以外のカナダ事業の業績を除外している。これは、カナダ事業から生じた利益をカナダでのたばこ訴訟の和解金支払いに充当することが定められているため。詳細については英語版決算報告書の 14 頁を参照。売上高は調整していない。
5. 米国における 2024 年の 6 億 7,800 万ポンドの課税繰延が 2025 年のキャッシュフローにマイナス影響を及ぼしており、2024 年の数値からはそのプラスの影響を除外している。課税繰延の影響を除くと、2025 年の営業活動による調整後キャッシュフローは 75 億 6,000 万ポンドとなり、同一為替レートベースでは 2024 年の 75 億 5,400 万ポンドに対して 2025 年は 78 億 4,000 万ポンドとなる。

2026 年の見通し

- 世界のたばこ業界の販売数量は約 2%減少する見通し
- 業績は中期的な予想レンジの下限近辺となる見込み
- 売上高成長率¹は 3～5%、新カテゴリー製品の売上高成長率¹は 2 桁台前半となる見込み

- 調整後営業利益成長率^{1、2}は4～6%となり、成長は下半期の比重が大きくなる見込み
- 取引上の為替変動によるマイナス影響は約1%となる見通し
- 調整後希薄化 EPS 成長率^{1、2}は5～8%となる見込み
- 為替換算による調整後希薄化 EPS² へのマイナス影響は約3%となる見通し
- 純金融費用^{1、2}は18 億ポンド前後（金利変動の影響を受けるため）となる見通し
- 2026 年の設備投資総額は約7 億 5,000 万ポンドとなる見込み
- 営業活動におけるキャッシュ・コンバージョンは95%を超える見込み
- 2026 年末時点の調整後純負債/調整後 EBITDA 倍率²は予想水準の2.0～2.5 倍以内にとどまる見込み
- 英ポンドベースでの増配を維持し、13 億ポンドの自社株購入を行う方針

1. 同一為替レートベース 2. カナダ事業調整後